

# ザ・2020ビジョン コモンズレター

追加型投信 / 国内 / 株式



## 運用責任者メッセージ

2月の内外株式市場は、米国大手テクノロジー企業の好決算を受け世界的な株高となりました。米国主要株価指数が史上最高値を更新しましたが、日本株でも日経平均株価が1989年の高値を抜いて史上最高値を更新したことは世界的に注目されました。1月に続いて海外投資家が大幅な買い越しを続けていますが、個人投資家は1月に続いて2月も大幅な売り越しとなっています。業種別では東証33業種で、輸送用機器、保険業、石油石炭が騰落率上位、繊維製品、海運業、食料品が下位となりました。

今月は、日経平均株価の上昇が目立ちましたが、東証グロース市場250指数はそれを上回る上昇率となりました。昨年秋から、小型成長株の底入れと反転の兆しをお伝えしてきましたが、ようやくその動きも顕著になってきました。ファンドのパフォーマンスへの貢献もさらに高まると考えています。当ファンドは成長投資枠で買える国内株式アクティブファンドです。引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

最高運用責任者 伊井 哲朗

◆2024年2月運用報告動画もぜひご覧ください

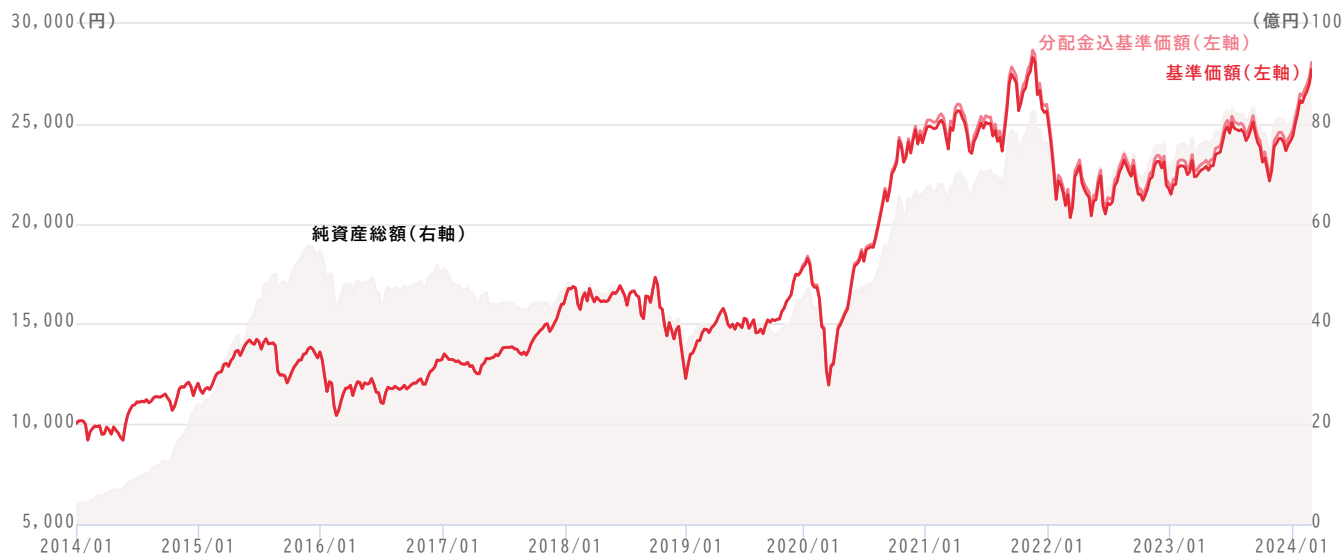
<https://youtu.be/HQ6d34n86Og>





## 基準価額の推移

2013年12月27日 ~ 2024年2月29日



※「分配金込基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています。※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により通減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.265%(消費税込)です。



## 運用実績

2013年12月27日 ~ 2024年2月29日

### 基準価額

27,849 円

(前月末比)

+1,738 円 (6.66%)

### 純資産総額

90.0 億円

(前月末比)

+4.7億円 (5.55%)

### 騰落率(分配金込)

期間	騰落率
1ヵ月	6.66%
3ヵ月	14.37%
6ヵ月	12.04%
1年	23.34%
3年	15.03%
5年	92.19%
10年	186.88%
設定来	182.12%

### 分配金(1万口当たり、税引前)

決算期	分配金
2019年12月	120円
2020年12月	150円
2021年12月	0円
2022年12月	0円
2023年12月	0円
設定来合計	270円

※「基準価額」およびその「前月末比」は分配後です。

※「騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。税引前分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。



## ポートフォリオの状況

### ポートフォリオの構成別比率

株式	98.6%
その他	1.4%

### 市場別比率

東プライム	84.9%
東グロース	8.6%
東スタンダード	5.1%
その他	1.4%

### 業種別比率

情報・通信業	21.5%
サービス業	17.0%
電気機器	16.2%
小売業	7.7%
卸売業	7.4%
その他製品	6.4%
化学	6.2%
輸送用機器	4.7%
非鉄金属	3.4%
不動産業	2.4%
建設業	1.6%
その他金融業	1.6%
機械	1.6%
食料品	1.1%
その他	1.4%

### 組入上位10銘柄

銘柄	業種	銘柄概要	組入比率
1 レーザーテック	電気機器	1960年創業、半導体関連検査装置の開発、製造、販売、サービスの提供を主軸とするメーカー。“強さが発揮でき、成長できる分野に経営資源を集中する”との経営方針の下、ニッチ市場に特化し、技術力を背景に高いシェアを獲得。半導体の微細化など半導体製造工程の複雑化につれて需要拡大が見込まれ、業績拡大フェーズ入りへ。	4.0%
2 サンリオ	卸売業	1960年の創業以来の理念は「みんななかよく」。ハローキティ、シナモロール、クロミ、ポムポムプリンなど、世界中で愛されるIP（キャラクターなどの知的財産）を豊富に保有し、物販事業、ライセンス事業、テーマパーク事業などを手がける。組織風土改革および構造改革、成長に向けた種まきで、未来への創造と挑戦を続ける。	3.9%
3 任天堂	その他製品	1889年創業。1980年、任天堂初の携帯型ゲーム機「ゲーム&ウオッチ」を発売。1983年、家庭用テレビゲーム機「ファミリーコンピュータ」を発売。ハード、ソフト一体で世界に発信。その後、「ゲームボーイ」、「ニンテンドーDS」、「Wii」、「Wii U」、2017年、持ち運べる家庭用テレビゲーム機「Nintendo Switch」を発売。目指すのは、「娯楽を通じて人々を笑顔にする会社」。	3.8%
4 デクセリアルズ	化学	1962年にソニーケミカルとして創業、2012年にソニーから独立し現社名に。従来はモバイルITのディスプレイ材料がコア事業で、業績が安定しないイメージが強かったが、現在の新社長が社長に就任した2019年以	3.5%

降、大胆な経営陣の若返りを図るとともに、注力する差異化技術製品への経営資源のシフトを進めた結果、事業ポートフォリオが劇的に変化して高成長・高収益企業に転換。

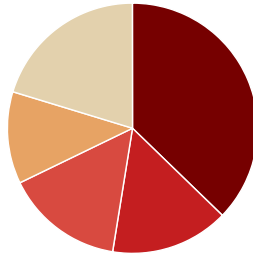
5	松屋アールアンドデイ	輸送用機器	AI Sewing(縫製)Robotの開発を通して日本版Industry 4.0(製造現場の自動化・デジタル化を指す)を行うリーディングカンパニーとして、縫製業界の日本回帰を促し日本の製造業の活性化に貢献することを事業目標として掲げる企業。AI画像認識等の自社の強みを生かした幅広い事業展開で存在感を増しつつあり、チャイナプラスワンの顧客ニーズに応えるべくベトナム生産体制を構築。	2.9%
6	オリエンタルランド	サービス業	1983年に米国外で初のディズニーテーマパークとなる東京ディズニーランドをオープン。2001年には世界で唯一“海”をテーマとした東京ディズニーシーをはじめ、ディズニーホテル、複合型商業施設、などを一斉にオープンし、舞浜エリアを東京リゾートエリアに発展させてきた。今後50年、100年先も「夢、感動、喜び、やすらぎ」を提供し、多くの笑顔を生み出す企業で在り続けたい。	2.9%
7	三越伊勢丹ホールディングス	小売業	三越伊勢丹HDは、国内20店舗・海外27店舗の百貨店を中核に据えながら、クレジット・金融など幅広い事業を営む。長期的に目指す姿は、「お客さまの暮らしを豊かにする、“特別な”百貨店を中核とした小売グループ」。特に、伊勢丹新宿本店は徹底的にファッションを追求し、三越日本橋本店は伝統・文化芸術・暮らしを強みとした店舗を構築。	2.8%
8	メイコー	電気機器	プリント配線板製造国内最大手グループ。主軸の車載用、スマホ用ともに増勢基調。車載用は自動運転、電動化の普及拡大により需要は旺盛。スマホ用は中国、韓国向けに強み。更なる需要拡大を見据えて設備投資も活発化。	2.8%
9	コナミグループ	情報・通信業	1970年代初期のアミューズメント機器（アーケードゲーム）の製造販売から始まり、家庭用ゲーム機向けコンテンツの制作、モバイル端末向けモバイルゲームの制作・配信を開始。ゲーム事業の特徴は、野球やサッカーといったスポーツ系に強い。また、スロットマシンやカジノマネジメントシステムの開発・製造・販売、スポーツクラブの運営および公共スポーツ施設の管理運営なども手がける。	2.7%
10	TDK	電気機器	大手電子部品メーカーの一角。磁性材料「フェライト」の工業化を原点とする素材技術からスタートし、今では、電子部品や磁気応用製品を製造。ヘッド、バッテリー、磁石、受動部品をコアに、電子部品事業を軸足として市場の求めるソリューションにより、大きく飛躍することを目指している。今後の需要拡大が期待される車載用や民生用などのセンサ応用製品の領域に注力。	2.5%

※「ポートフォリオの構成別比率」「市場別比率」「業種別比率」「組入上位銘柄」に関しては、マザーファンドについての記載となります。  
 ※各比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。  
 ※その他とは現金等を指します。  
 ※業種については東証33分類に基づいて記載しております。



## 時価総額別構成比

### 時価総額別構成比



- 1000億円未満：37.3%
- 1000億円以上3000億円未満：15.3%
- 3000億円以上5000億円未満：15.3%
- 5000億円以上1兆円未満：11.9%
- 1兆円以上：20.3%

※比率はマザーファンドの純資産総額を100%として構成銘柄数における当該時価総額別の社数の割合を計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。



## 市場概況

2月の日本株は歴史的な株価上昇となりました。月初こそ、前月末に終了した米連邦公開市場委員会（FOMC）の結果を受け、早期の米利下げ期待が後退したことから米国株がもみ合いとなる中、日本株も一進一退の動きとなりました。その後、8日に内田日銀副総裁が、マイナス金利解除後も日銀が緩和的な金融環境を維持するとの認識を示したことからドル円相場で円安が急速に進み、自動車株など輸出関連株を中心に日本株が急伸、また米国で生成AI向け半導体の旺盛な需要が見込まれることから国内の半導体関連株も上昇し、日経平均株価は前月末から約1,700円の上昇で一時38,000円台をつけました。

後半に入ってもその勢いは衰えず上昇基調を維持しました。15日に発表された米半導体製造装置会社の好決算を受け、翌16日は一斉に半導体関連株が買われ日経平均株価を押し上げました。さらに、21日に発表された生成AI向け半導体会社のエヌビディアの決算が市場予想を大きく上回ったことから、翌22日は国内の半導体関連株が急上昇、それらの株価上昇がけん引役となり、日経平均株価は終値で39,000円台をつけ1989年の過去最高値を34年ぶりに更新しました。その後の株価上昇は一服したものの、月末の日経平均株価は前月末比2,879円高（+7.94%）の39,166円で取引を終えました。



## 運用状況

2月、当ファンドは+6.66%の上昇となりました。組入銘柄の中では10%以上上昇した銘柄が14社ありパフォーマンスに貢献しました。組入上位銘柄の騰落率では、デクセリアルズ+40.20%、サンリオ+35.57%が上位2銘柄、松屋R&D▲7.95%、オリエンタルランド▲2.53%が下位2銘柄となりました。上場来高値を更新した銘柄は9社、年初来高値を更新した銘柄も24社ありました。同期間のTOPIX（東証株価指数；配当込）は+4.93%、日経平均株価は+7.94%、東証グロース市場250指数は+8.48%の上昇となりました。なお、当月、ポートフォリオ組入銘柄数は1社増加し59社となりました。株式組入比率は98.6%（前月末比+1.7%）としています。

◆2024年2月運用報告動画もぜひご覧ください。

<https://youtu.be/HQ6d34n86Og>

### 2024年2月運用報告動画





## 未来予想図

### 【生成AI関連銘柄の活況について】

米エヌビディアが生成AI関連銘柄の筆頭とされていますが、国内でも同様に生成AI関連銘柄が株式マーケット上昇の牽引役になっています。その勢いも手伝って日経平均株価は34年前の38,915円の過去最高値を更新しメディアでも大きく取り上げられています。

国内での生成AI関連企業で特に株価上昇が顕著なのが半導体製造装置関連企業である、東京エレクトロン、ディスコ、アドバンテスト、SCREEN、レーザーテックなどです。

特に上記5社のうちレーザーテックを除く4社は米大手証券会社が名付けた「セブン・サムライ（7人の侍）」として取り上げられ、投資家の注目度が高まっているようです。

2023年度の半導体製造装置メーカーの業績は、スマホ、PC、データセンターなどの最終需要が低迷したことから半導体メーカーの稼働が落ち込み、2022年度の業績を下回る企業がありますが、2024年はスマホやデータセンターなどの最終需要が後半にかけて回復する見通しであることや、生成AI関連需要の伸長が想定されていて、半導体市場や半導体製造装置市場ともに2023年比では2ケタ前後の成長が見込まれています。続く2025年も更なる成長が期待されています。

そういった背景から、2024年度、2025年度の半導体製造装置メーカーの業績は力強く成長していくことが期待できることなどが、今回の株価上昇の背景にあると考えられています。

これまでの急ピッチな株価上昇により、企業業績の回復や事業の成長期待を相当程度織り込んでいることが考えられますが、調整局面などを挟み上下動を繰り返しながらも暫くは人気が続いていくことが想定されます。

また、生成AIの広がり方にも注意が必要です。現状では、生成AIを使いこなすためには、プロンプトエンジニアリングと呼ばれる、大規模言語モデル（LLM）への命令（プロンプト）を開発・最適化するためのスキルが必要とされているようですが、近い将来に生成AIのユーザーインターフェース（UI）が改善・改良されることにより、多くの人々が生成AIを日常的に利用できる環境になる可能性があり、それに伴って半導体市場や半導体製造装置市場もまた、急速に成長していく可能性が考えられます。そういったことを含めて生成AI市場の動向を注意深く観察していくことが重要であると考えます。



シニア・アナリスト 末山 仁





## コモンズPOINTからのお知らせ

ザ・2020ビジョンの寄付のしくみコモンズPOINTでは現在、一般社団法人日本障がい者乗馬協会を応援しています。

日本障がい者乗馬協会について→<https://jrad.jp/>

コモンズPOINTについて→<https://www.common30.jp/fund2020/point.php>

### 【イベント 第6回ホースメッセTOKYO2024】

2月10日からの3日間、第6回ホースメッセTOKYO 2024がJRA馬事公苑にて開催されました。日本障がい者乗馬協会稲葉選手のトークセッションも行われ、パリパラリンピックに向けた取り組みについてもお話されました。中でも印象的だったのは、会場から寄せられた「はじめて組む馬とはどんな風にコンビをスタートさせるのですか?」といった質問に対し、「まずは、自分という人間を知って受け入れてもらうことから始めます」と返された言葉でした。



タイミング良く、稲葉選手がその日の夕方に講習会で演技を披露されるということで、稲葉選手が明治大学馬術部から借りた馬に試乗する場面に遭遇しました。

稲葉選手と馬が静かに歩行していく風景は、まるで言葉のない対話を丁寧に積み重ねていっているように感じました。

稲葉選手のインスタグラムはこちら

[https://www.instagram.com/p/C3Op8K1v7pD/?img\\_index=2](https://www.instagram.com/p/C3Op8K1v7pD/?img_index=2)

ホースメッセ2024では、厩舎の中に様々な団体による展示ブースも出展されていました。パラ馬術と共に、日本障がい者乗馬協会などパラスポーツ9競技団体からなるP.UNITEDのアピールコーナーもあり、信州大学馬術部の学生のみなさんお手伝いにかけてくださっていました。

[https://www.instagram.com/p/C3mV9S8p03q/?img\\_index=4](https://www.instagram.com/p/C3mV9S8p03q/?img_index=4)

<https://www.instagram.com/p/C3OnllivdOE/>

<https://horsemesse.jp/>



ソーシャル・エンゲージメント・リーダー 馬越 裕子



## お知らせ

### Pick up! セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「[セミナー情報](#)」をご覧ください。

<http://www.common30.jp/seminar/>

◆2024年2月運用報告動画もぜひご覧ください。

<https://youtu.be/HQ6d34n86Og>

□こどもトラストセミナー  
コマツ栗津工場とこまつの杜に行こう！

3月28日（木） 10:00～16:00



□こどもトラストセミナー  
リンナイの大口工場であらくり改善を体験しよう！  
～コモンズ30ファンド投資先企業「リンナイ株式会社」からくり改善体験ツアー～

4月2日（火） 13:00～16:10

□こどもトラストセミナー  
おかねの教室（小学生対象※新1年生も可）  
「おかねの4つの使い方～つかう・ためる・ふやす・ゆずる～」＋オリジナル貯金箱をつくろう！

3月3日（日） 13:00～14:15



□【オンライン】こどもトラストセミナー  
おかねの教室（小学生対象※新1年生も可）  
「おかねの4つの使い方～つかう・ためる・ふやす・ゆずる～」

3月20日（水・祝） 10:00～10:45

□「伊井さん、何でも聞いていいですか？」

3月12日（火） 20:00～21:00

□こどもとうしかのための コモンズの視点～企業のミカタ～  
任天堂のごしょうかい

3月25日（月） 10:00～10:30

□なぜ？新NISAには「つみたて投資枠」があるのか？

3月21日（木） 19:00～19:30

※詳細はコモンズ投信のウェブサイトにてご確認ください。

☆アーカイブ動画を[YouTube「COMMONSTV」](#)にて配信しております。  
ぜひ、チャンネル登録をお願いいたします！☆





## 販売会社一覧

販売会社名	登録番号	加入協会			
		一般社団法人 日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物取引業 協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社静岡銀行	登録金融機関 東海財務局長（登金）第5号	○		○	
岡三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第53号	○	○	○	○
とちぎんTT証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第32号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	○		○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○
京都信用金庫	登録金融機関 近畿財務局長（登金）第52号	○			
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第50号	○			○
株式会社SBI 新生銀行（委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○		○	
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第140号	○	○	○	○
百五証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第134号	○			

当ファンドは、NISA制度における「成長投資枠」の対象商品ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、各販売会社にお問い合わせください。



## ザ・2020ビジョンのリスクについて

### 基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

### 基準価額の変動要因となる主なリスク

株価変動リスク	当ファンドは実質的に国内の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、又は取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不足の損失を被るリスクがあります。



## その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部戻りに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。



## ザ・2020ビジョンの費用について

### 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	(コモンズ投信の場合) ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合) 販売会社が、別途定める購入手数料を申し受ける可能性があります。なお、販売会社における購入手数料は3.3% (消費税込) が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.265% (消費税込) を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11% (消費税込) を上限として投資信託財産により控除されます。上記の手数料 (費用) 等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限等を事前に示すことができません。



## お申込みメモ

その他	商品分類	追加型投信/国内/株式
	信託設定日	2013年12月27日
	信託期間	無制限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。）
	決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日といたします。)
	分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
	購入単位	(コモンズ投信の場合) 1万円以上1円単位 (委託会社が指定した販売会社の場合) 販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	購入価額	換金申込受付日の基準価額
	換金単位	(コモンズ投信の場合) 1円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合) 販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
	換金価額	換金申込受付日の基準価額
	換金代金の支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
	申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。午後3時を過ぎてのお申し込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。



## ご注意事項

- ◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。
- ◆ファンドの組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。
- ◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合があります。
- ◆投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。ご自身の判断でお申し込みください。



## 関係法人

### 委託会社

コモンズ投信株式会社  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-4-5 VORT平河町Ⅱ 5階 (旧 平河町Kビル)

- ・金融商品取引業者
- ・関東財務局長（金商）第2061号
- ・加入協会 一般社団法人投資信託協会

お問い合わせ先  
■コールセンター（受付時間／平日 午前10時～午後4時）  
03-3221-8730  
■ウェブサイト  
<https://www.common30.jp/>